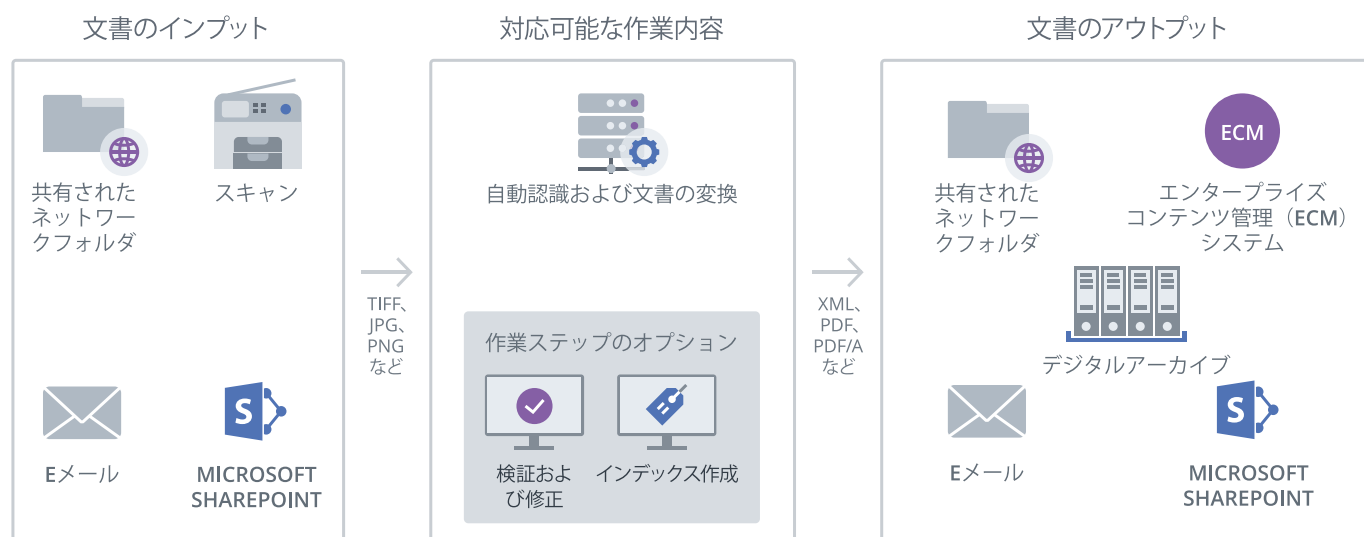


ABBYY® FineReader® Server

スキャン後のイメージファイルをPDF、Microsoft Word/Excel、HTML、XMLなどのアクセス・検索・共有可能な形式に変換。お使いのITシステムで電子情報を保管でき、速く効率の良い情報収集が可能。

大規模な文書変換用に設計された ABBYY FineReader Serverでは、大量の文書を検索・アクセス可能なデジタルリポジトリに自動で変換することができます。サーバーベースの OCR や PDF 変換ソリューションでは、スキャンした文書や電子文書をPDF、PDF/A、Microsoft Word などの形式に変換し、検索・長期保存・共同作業・追加処理 を迅速、正確、かつ自動的に行います。



ABBYY FineReader Serverは共有ネットワークフォルダ、スキャナ、メール、Microsoft® SharePoint®からドキュメントの画像を受信し、光学式文字認識 (OCR) 技術を使用して検索可能なデジタル形式に自動変換します。 必要な場合には、ユーザによって手動でテキスト情報を訂正したり、文書にメタデータを加えたりすることができます。 デジタル化したファイルは任意の数の保存先に保存され、ほかのアプリケーションに転送することも可能です。

利点について

ABBYY FineReader Serverはユーザの手間を最小限に抑えつつ、ドキュメントを自動で変換します。バックグラウンドで処理され、いつでもあらかじめ設定された時間に、すべてのドキュメント処理を独立して行います。

コンテンツを標準化

複数の文書を標準化され適切に組織化されたデジタルライブラリに変換。

素早いROIを実現

FineReader Serverは導入が素早くできメンテナンスも簡単です。そのため、最終的な作業結果をこれまでよりも早く得られるようになります。

処理をスケジューリング

必要に応じてバッチ処理を随時実施またはスケジューリングし、ハードウェアリソースの最適化が可能。

技術知識不要でビジネスユーザにも対応

FineReader Serverは、変換作業を始めるために特別な研修や事前知識は不要です。

文書の取り扱いを合理化

保存が簡単で、特別なシステムにもすぐに割り振ることができ、チーム内で共有しやすいデジタル文書を作成。

コンテンツをアクセス・検索可能に

ビジネスユーザが関連キーワードを含む文書のデジタルアーカイブを素早く検索できます。

主な機能



AI 駆動型 OCR

素早く正確な結果を 200 以上の言語で（欧州言語、アラブ語、CJKなどを含む）。



バーコード認識

AI を用いて検出した 1D および 2D のバーコードを読み取り、文書の分割やメタデータの追加などを可能に。



サーバーベース アーキテクチャ

もっとも効果的な方法で利用可能なハードウェアリソースを活用。



文書タイプとメタデータ

文書タイプと属性を自動で割り当て：必要な場合、手動でメタデータ作成が可能。



大規模なスケーラビリティ

大量の文書をわずかな時間で変換。



ヨーロッパ中世時代のゴシックフォントの認識

ブラックレターやシュヴァーバツハ体など英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語のゴシックフォントの多くをサポート。



PDF変換と圧縮

PDF を圧縮し、質を維持しながらもファイルサイズの最小化を実現。PDF/A (-1a、-1b、-2a、-2b、-2u、-3a、-3b、-3u)、PDF/E、PDF/UA フォーマットに対応。 デジタル署名とウォーターマークのサポート。



既存システムへの統合

XML チケットや、COM ベースの API、さらに Web サービス API (REST APIを含む) を介してデジタルアーカイブやエンタープライズコンテンツ管理システムと簡単に接続。



対応文書形式の幅広さ

PDF、JPEG、TIFF、Word、Excel、Open-Document Text、PowerPoint、HTMLなどの形式から自動的に変換。



文書の分割

ページ数、空白ページ、バーコードページ、指定した設定などに応じて自動的に文書を分割。



SharePointとの統合

文書をSharePointライブラリから検索可能なPDFに自動的に変換。



監査報告

リポジトリを分析して、ファイルの種類と、検索可能・検索不可能な文書および複製の数を特定。

利用方法

1 工程

文書のインプット

FineReader Serverはスキャナ、共有ネットワークフォルダ、メール、Microsoft SharePoint からドキュメントの入力内容を受信します。

スキャン

FineReader Serverは使いやすいスキャニングステーションインターフェースを提供し、複数ドキュメントのスキャンをサポートします。 オンボーディング品質改善ツールには、画像プレビュー・補正、手動編集などの機能が含まれています。 ユーザは大きいページを自動分割したり、重複スキャン後にページの順番を再編したり、といったスクリプトコマンドを利用できます。

ドキュメントのインポート

FineReader Serverは以前スキャンしてドキュメントライブラリに取り込んだ画像やメール添付で送られてきたファイルを自動で取り込むことができます。 インポートされたドキュメントの画像は該当のプロパティで使用可能なコンピュータリソースに応じて処理されます。

- TWAIN、WIA、ISISを経由したスキャン
- あらゆるネットワークスキャナおよびMFPと統合
- Hot folder監視 (FTPまたはローカルネットワーク)
- 届くファイルを指定フォルダで自動処理
- ネットワーク共有やSharePointライブラリを巡回
- 最近追加されたファイルを検出し、検索可能な形式に変換
- メール経由で入力 (Microsoft Exchange、POP3、IMAP)
- FAXやメールサーバと統合し、添付画像を処理

複数の入力形式に対応:

画像ファイル

- TIFF / Multipage TIFF
- 圧縮方法: 非圧縮、CCITT3、CCIT-T3FAX、CCITT4、PackBits、- JPEG、ZIP、LZW (8/24bits)
- JPEG、JPEG 2000
- JBIG2
- BMP
- GIF
- PNG
- WDP
- XPS
- PCX、DCX

Eメール

- プロトコル対応のメールサーバ: IMAP、MAPI、POP3、MS Exchange、Google® Mail、IBM® Dominoなど
- MSGやEMLファイルといったファイルシステムに保存されたメールメッセージファイル

カスタマイズ

- 対応した方式の拡張リスト用プラグインを作成可能。例えば、Autocad®などのソフトウェアを利用してCADファイルをPDFに変換できます。

オフィスドキュメント

- PDF
- DjVu
- DOC、DOCX、ODT
- XLS、XLSX、ODS
- PPT、PPTX、ODP
- TXT、HTML、HTM、RTF

2 工程

ドキュメント処理

FineReader Serverはオプションの検証・インデックス作成機能を使って自動認識・ドキュメント変換によるドキュメントの画像処理を行います。

ドキュメントの認識/OCR

FineReader ServerのOCR処理は専用のワークステーション「処理ステーション」で自動的に行われます。ABBYYの高精度OCR技術を使って、FineReader Serverは認識精度を高める広範囲の機能をサポートしています。以下はその例です。

- 画像の前処理（本のスキャンで重複したページの分割やバックグラウンドノイズの削除など）
- 印刷タイプの定義（通常のテキスト、タイプライター、ドットマトリクス、OCR-A、OCR-B、MICR E13b、Gothic）
- 言語の定義（200以上の言語や古いフォントを使用した過去のテキストの自動認識）
- 重複をスキップする可能性

ドキュメントの品質や構造に応じて、処理モードを「高精度」または「高速」に設定できます。多くのドキュメントを限られた時間枠で処理するなど、処理速度を大きく向上させるには、追加の処理ステーションや数の多いCPUコアを追加するという対応方法があります。

FineReader Serverのスケジュールされた処理機能により、あらかじめ指定したスケジュールに従い、別の時間に種類別のドキュメントを処理できます。

検証（オプション）

場合によって、本のデジタル化など、認識結果の検証が必要なこともあります。FineReader Serverの統合検証ステーションインターフェースでは、すべてのドキュメントまたはあらかじめ基準を定義された認識精度に満たなかったドキュメントに限って、結果の訂正を行うことができます。

インデックス作成（オプション）

必要であれば、インデックス作成ステーションインターフェースから手作業で、またはスクリプトで自動的にドキュメントのインデックス作成を行うこともできます。インデックス作成フィールド値のリストをインポートして、サードパーティのシステムと同期できます。

3 工程

ドキュメントの結合とエクスポート

FineReader Serverは処理されたページを個別ドキュメントに分割できます。ドキュメント分割には3つの方法があります。

- 空白のシートまたはバーコードページを使って分割する方法
- ドキュメントごとに固定ページ数で分割する方法
- スクリプトルールに従い、分割する方法

所定の形式に結合されたドキュメントは、ネットワークフォルダやSharePointのドキュメントライブラリ、メールアドレスなどあらかじめ指定した保存先へ出力したり、APIを介して接続するほかのアプリケーションに転送したりできます。

スクリプトはドキュメントのプロパティに基づき、インテリジェントルーティングや、企業向けコンテンツ管理システムへのドキュメント送付に適用できます。FineReader Serverは各種出力形式に対応し、同時に複数の形式でファイルを出力できます。

FineReader Serverはライブラリを個別に巡回し、検索できない画像ドキュメントを検出、そして検索可能な形式に変換します。Microsoft WordファイルやPowerPoint®プレゼンテーション、Excel®スプレッドシートなど処理の必要ないドキュメントは同じ状態で出力ライブラリに移動できます。

- | | | | | |
|--------------------|-----------------------|------------|------------------|---|
| 複数の出力形式に対応: | • PDF、PDF/A-1a、PDF/A- | • RTF | • TIFF | • Alto XML |
| | 1b、PDF/- 2a、PDF/A- | • DOC、DOCX | • JPEG、JPEG 2000 | • FineReaderの内部フォーマット（FineReader Engineとの互換性） |
| | 2b、PDF/A-2u、PDF/- | • XLS、XLSX | • PNG | |
| | 3a、PDF/A-3b、PDF/A- | • TXT、CSV | • EPUB | |
| | 3u、PDF/E、PDF/UA | • HTML | • XML | |

ABBYY FineReader Serverについての詳細は、www.abbyy.com/finereader-server をご覧ください。

